

平成 2 6 年度川西小学校  
6 年生子ども議会

開会 平成 2 7 年 1 月 2 9 日

閉会 平成 2 7 年 1 月 2 9 日

平成 26 年川西小学校  
6 年生子ども議会会議録



( 6 年 1 組 )



(午後1時40分 開 会)

議 長（北村佑真君） みなさん、こんにちは。

僕たち6年生は、社会科の授業で「私たちの暮らしと政治」を勉強する中で、議会の大切さを知りました。そこで学習の実践として、川西町議会の議場において6年生の子ども議会を開催させていただくことになりました。よろしく願いいたします。

それでは、これより平成26年度川西小学校6年生による子ども議会を開会いたします。

会議に先立ちまして、わたしは1組議会の議長をさせていただきます北村佑真です。どうぞよろしくお願いいたします。

開会の前に、町長さんより全体の挨拶を受けることにいたします。

竹村町長さん。

町 長（竹村匡正町長） 川西小学校・子ども議員の皆さん、こんにちは。

川西町長の竹村でございます。

本日は、川西町の子ども議会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。今日この日のために、学校で何度も事前学習されたと伺っております。心から感謝申し上げます。ただいま、この場より皆さんの凛々しい顔を拝見いたしますと、熱意が伝わってき、川西町の未来も安泰であると、感じているところでございます。

さて、このたび、川西町にとって初めての試みである子ども議会を開催いたしました目的は、ひとつにみなさんに行政や議会の役割を学んでいただき社会の一員であるとの自覚を培っていただきたいという思いがあったこと、ひとつに、みなさん自身、日頃の暮らしや学校生活の中で感じられたこと、夢や希望などを行政にぶつけていただきたいということ、もうひとつに、それを、大人たちばかりでなく、子ども達からも様々な意見を聞いてまちづくりに活かしていきたい、その様な思いをもって始めた次第でございます。

みなさんが、おられるこの部屋は「本会議場」といいます。ここでは、日頃、町会議員のみなさまと、私たち町行政が、これからの川西町をどうしていくのか、町民のみなさまが安全で安心して暮らせるよう、たくさんの議論をしている、とても大切な場所でございます。

未来の川西町を支えていかれるみなさんが、議会運営をじかに体験いただくことは貴重な体験になるものと思っております。

今日は、みなさんから、実際の議会と同様の、質問通告という形で、事前に様々な質問をいただいております。私も読ませていただきましたが、どれもが、川西町をよくしていくにはどうすればよいのかということが、しっかりと取り上げられていました。川西町をあげて、ご質問に対しては、一生懸命答弁させていただきます。そして、みなさんからいただいた貴重なご意見は、今後のまちづくりに活かしてまいりますと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、本日の子ども議会開催にあたり、川西町議会をはじめ、保護者のみなさまならびに学校長はじめ関係者のみなさま方の、ご理解・ご協力に心から感謝申し上げます、子ども議会開会の挨拶とさせていただきます。

それでは、子ども議員のみなさん、胸を張り、元気に登壇・質問いただきますようよろしくお願いいたします。

議長（北村佑真君） ありがとうございます。

それでは、これより1組議会を開会します。

まず、会期の決定についてを議題といたします。1組議会の会期は、本日の学校授業時間の5時限目といたしたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（北村佑真君） 異議なしと認め、1組議会の会期は、本日5時限目と決定いたします。

質問に入ります。質問者は、前の答弁席ではっきりと質問してください。回答は、各担当の課長さんをお願いいたします。なお、同じような内容の質問に対しては、質問者全員に先に質問していただき、最後に一括して回答をお願いします。また、今回は時間の都合がありますので、再質問は「なし」とします。

それでは1班高橋君をお願いします。

1班（高橋大暉君）

結崎駅周辺は、たくさんの方が集まる場所なのに、なぜ電灯が少ないのですか。ぼくたち子どもにとっては、こわそうな人がいるときがあるので、もっと明るかったらいいと思います。

以上、質問を終わります。

議長（北村佑真君） ありがとうございます。

同じような質問がありますので、続けて質問いたします。

2班の檜垣君をお願いします。

2班（檜垣邦弘君）

町内の街灯が暗いです。なぜ、もっと明るく長持ちするLEDの街灯に変わらないのでしょうか。夜、暗くて自転車で猫をひきそうになったり、車にひかれた猫の死体があつたりします。

以上で、質問を終わります。

議長（北村佑真君） 続いて6班板倉さんをお願いいたします。

6班（板倉叶実さん）

2班と似ていますが、町内の道路には街灯が少ないです。特に吐田、下永など大和川近くの大字の道路は暗くて怖いです。塾や習い事の帰りなどは、一人だと特に怖いです。街灯を増やすことはできないのでしょうか。

以上で質問を終わります。

議長（北村佑真君） ありがとうございます。

それでは、総務部総務課長さんよろしくお願いいたします。

総務部総務課長（奥 隆至課長） 1組1班高橋さん、2班檜垣さん、6班板倉さんのご質問に対し一括で回答させていただきます。街灯については、地元自治会の相談やお願いにより、暗い場所や、危険な場所については、調査の上、設置させていただいております。また、新しく宅地開発される場所については、前もって打合せするときに、開発業者に対して街灯の設置についての相談をしておりますので、宅地開発工事が終わったときには新しく街灯が設置されております。

結崎駅については、乗降客の安全確保等の観点から、適切な駅照明を設置されていると思われまし、駅周辺の町道等について、また、吐田や下永等駅から離れた場所についても、通学路等について、治安上、防犯上においても街灯を適切に設置し、明るくしたほうがよいと思いますので、そういう場所がありましたらお父さんやお母さんたちを通じて、地元の自治会長さんたちを通して相談していただければ、調査をして適切に対応していきたいと思ひます。

街灯のLED化については、器具の故障等により修理が必要なものについては、LED照明に変更しておりますが、東日本大震災により、原子力発電の見直し等により電力供給に余裕がなくなつてきておひまして、電力削減のためにも、省電力で明るいLEDの街灯を設置したほうがよいとは思ひますが、町内全部の街灯を全てLED化するのは、町の財政すなわちお財布の中身的にも非常に大きな支出となることから、国や県等からの適切な補助金を活用して街灯をLEDに変えていく事業を実施していきたいと思ひておりますが、時期については、町が行う事業に国や県が費用の一部を負担する事業を認めてもらうことと、町の財政と相談しながら進めたいと考えておりますのでご理解をお願いいたします。

議 長（北村佑真君） ありがとうございます。

質問を続けます。3班矢追さんお願いいたします。

3班（矢追真奈さん）

町の図書館や自習室の空いている時間は、5時までなのですが、高学年になると、調べてまとめる学習が多くあります。図書館で調べようと思つても、学校から帰って行こうすると、もう閉まつてしまひます。また、学校から早く帰られる水曜日は、図書館の休館日になつていてとても利用しにくいです。もう少し、利用しやすいように改善することはできませんか。

以上で、質問を終わります。

議 長（北村佑真君） 続いて4班浅越君お願いいたします。

4班（浅越柊哉）

川西図書館には、子どもに人気のコミック本が少ないです。しかも恐怖マンガ（ホラー）が多いので、いろいろな種類のコミック本があれば、利用者が増えると思ひます。増やしていただけるでしょうか。

議 長（北村佑真君） ありがとうございます。

それでは、教育委員会事務局社会教育課長さんよろしくおひお願いいたします。

教育委員会事務局社会教育課長（広瀬行延君）

まず3班の矢追さんの質問にお答えいたします。

図書館は、赤ちゃんから高齢の方まで、幅広く利用していただひている施設です。図書館ができた頃は、近くの図書館と休みが重ならないようにと水曜休館に決まりました。

けれども、今年の4月から休館日を水曜日から月曜日に変更、金曜日は午後5時から7時までの2時間の延長をする予定です。

土曜日・日曜日は、いつも開いてありますので、どうぞ利用してください。

また、学習室については、土曜日・日曜日と春・夏・冬休みに午前9時から午後5時まで開けてありますので利用してください。なお、学習室は、教育委員会事務局

の管理になっています。

続いて、4班の浅越君の質問にお答えいたします。

コミックは、いたみやすいため、図書館の蔵書としておくにはあまりむきません。

また、コミックは、比較的手に入りやすいのではないのでしょうか。学習に役立つ内容の蔵書は、今後、考えていきたいと思えます。

図書館は、限られたスペースと予算のため、長く読みつがれる本を選んでいきます。図書館の2階には、子どもが読む本（児童書）がたくさんありますので、どうぞこちらも借りてください。よろしくご理解いただきたいと思えます。

議 長（北村佑真君） ありがとうございます。

続いて5班の笠原さんをお願いします。

5班（笠原穂海さん）

フレックスパークや飛行機公園には、水飲み場や水道がないのはどうしてでしょうか？暑い時など、脱水症状を起こすことにつながると思えます。手が汚れたとき、けがをしたときなど、水で洗い流すことができないと思えます。

以上、よろしくをお願いします。

議 長（北村佑真君） ありがとうございます。

それでは、総務部まちづくり推進課長さんよろしくをお願いいたします。

総務部まちづくり推進課長（安井洋次君）

水道の件ですが、フレックスパークが完成した時は、水道が設置されていました。しかし、水道の出しっぱなしまたは、蛇口などを壊されたり悪質ないたずらがたびたびあったりして、正しい利用がされなかったので使用を禁止にしています。

このような出来事もあったため、各公園には水道を設置していませんが、川西町だけではなく、全国的にも設置しない方向のようです。

尚、のどが渇いてしんどくなったり、何かの拍子で怪我をしたりしたときには、素早くお家に帰るか、緊急の場合は、近所の人に助けを求めてください。

よろしくをお願いします。

議 長（北村佑真君） ありがとうございます。

7班、中野さんをお願いします。

7班（中野すずさん）

わたしたちは、いぶき子どもセンターをよく利用しています。いぶき子どもセンターは運動場、体育館、部屋といろいろな遊びを楽しむことができます。いざという時に、大人の人をすぐに呼ぶこともでき安心です。そんな施設を増やすことはできないのでしょうか。よろしくをお願いします。

議 長（北村佑真君） ありがとうございます。

それでは、教育委員会事務局社会教育課長さんよろしくをお願いいたします。

教育委員会事務局社会教育課長（広瀬行延君）

7班の中野さんの質問にお答えいたします。中野さんたちが、子どもセンターをよく利用していただきありがとうございます。

川西町には、皆さんのよく行っている「いぶき子どもセンター」と近鉄線の北東に位置する「すばる子どもセンター」の2ヶ所があります。すばる子どもセンターへはあまり行くことが少ないかと思えますが、いぶきと同じように小学



平成 26 年川西小学校  
6 年生子ども議会会議録



( 6 年 2 組 )

議長（奥田莉生さん） それでは、これより平成26年度川西小学校6年2組の子ども議会を開会いたします。  
会議に先立ちまして、わたしは2組議会の議長をさせていただきます奥田莉生です。  
どうぞよろしくお願ひいたします。

まず、会期の決定についてを議題といたします。

2組議会の会期は、本日の学校授業時間の6時限目といたしたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（奥田莉生さん） 異議なしと認め、2組議会の会期は、本日6時限目と決定いたします。

これより、質問に入ります。質問者は、大きな声で返事をし、前の答弁席ではっきりと質問してください。回答は、各担当の課長さんをお願いいたします。なお、同じような内容の質問に対しては、質問者全員に先に質問していただき、最後に一括して回答をお願いします。また、今回は時間の都合がありますので、再質問は「なし」と致します。

それでは、まず鎌田君をお願いします。

#### 1 人目質問者（鎌田隼人君）

川西町内になる公園には、遊具やトイレの数が少ないように思います。もっと、楽しめる遊具があれば外で遊ぶ子どもたちも増えると思います。また、トイレがあれば安心して遊べると思います。

今後、遊具やトイレを増やす予定や計画はありますか。以上で質問を終わります。

議長（奥田莉生さん） ありがとうございます。

それでは、総務部まちづくり推進課長さんよろしくお願ひいたします。

#### 総務部まちづくり推進課長（安井洋次君）

まず、遊具について説明します。

川西町の各自治会には、高齢の方・大人の方・幼児～小学生・中高校生など、あらゆる年代の方々がおられ、その年代に応じて、遊具の設置を検討していかなければならないと思っています。

例えば、高齢者の多い自治会においては、健康遊具などを中心に設置し、幼稚園児・小学生の多い自治会においては、子どもたちが楽しめる遊具など各自治会の特色などを考えて設置していきたいと思っています。

つづいて、トイレ設置の件ですが、トイレはあった方が便利なことは私も思います。しかし、トイレの建物内は、周りの人から見えないので、水を出しっぱなしにする人や、落書きなどのいたずらをする人、未成年が隠れてタバコ吸う人など、悪い事をする人がいるのでトイレを設置していません。

また、公園を利用されている方の多くは、近所にお住まいの方たちだと思いますので、ご不便をお掛けしますが、お家のトイレを利用してください。よろしくお願ひいたします。

議長（奥田莉生さん） ありがとうございます。

続いて、原君お願ひいたします。

2 人目の質問者(原嶺司君)

川西小学校の教室にはエアコンがありません。夏は大変暑く勉強に集中できないという意見が大変多いです。クラスのみんなにアンケートをとったら「暑くて集中できない」という意見が全員でした。でも、そのようなお金がないという考えもあるかと思えます。募金活動などを行い、お金を集めるのも一つのアイデアと思いますが、これから、エアコンを教室にとりつける予定はありますか。よろしく願いいたします。

議長(奥田莉生さん) ありがとうございます。

それでは、教育委員会事務局総務課長さんよろしく願いいたします。

教育委員会事務局総務課長(深澤達彦君)

それでは、原君の質問にお答えします。私たちの暮らす奈良県は、盆地特有の気候で、特に夏は一段と暑く、また冬は、低温になります。このことは、豊かな四季を感じるころでもあると言えるのではないのでしょうか。

小学生の皆さんには、暑い夏を楽しく過ごせる夏休みがあります。家で涼しく過ごすのもよいでしょうが、暑い夏にしか出来ない遊びや体験をするのも、よい思い出になるのではないのでしょうか。また、冬に風邪をひかない予防策で、一番よいのは、夏の間を体を冷やさず、暑い夏に体を鍛えることであるとよく言われています。

確かに、集中して勉強できないくらいの暑さの時もあるかもしれません。その様なときのために、まず暑さをしのぐ方法の勉強にも取り組んでほしいです。

現在は、エコや省エネを考える時代に入っています。環境を守るためと、気温の急激な変化で体調を崩しやすくないためにも、今後、学習面での効率と健康面での問題とをよく考え、調査した上で、検討材料にしていきたいと考えます。

議長(奥田莉生さん) ありがとうございます。

3人目の質問者、國井君お願いいたします。

3人目の質問者(國井亮汰君)

ぼくたちは、総合的な学習の時間で大和川について学習してきました。特に、大和川の支流である寺川には、水質調査にもいきました。結果水質は、汚れているという結果が出ました。また、大和川には水生生物調査にもいきました。きれいな水に住む生き物は、一匹も見つけることができませんでした。少しずつきれいには、なっていると思いますが、もっときれいな川にするための町としての取り組みはありますか。

議長(奥田莉生さん) ありがとうございます。

それでは、福祉部住民生活課長さんよろしく願いいたします。

福祉部住民生活課長(吉田昌功君)

それでは、國井君の質問にお答えします。

川の水をきれいにするためには、汚れる原因を知る必要があります。原因はいろいろありますが、最も大きな原因は、家庭から出る生活排水です。そこで、川西町では、原因となる家庭排水をきれいにする、汚れている川をきれいにするこの両面から、様々な取り組みを行っています。

まず、家庭排水をきれいにするための取り組みとしては、呼びかけ運動、廃食用油の回収、下水道の普及があります。

川西町は飛鳥川や大和川の支流が流れる市町村で構成する団体に所属し、特に水質が悪くなる冬に、駅前など人通りが多いところでティッシュを配って一斉に呼びかけをしています。2月の大和川水質改善強化月間には、広報に水質改善強化月間に関する記事を載せたり、役場住民生活課の前で、ごみを下水に流さないようにする水切りネットや、チラシの入ったティッシュを配り、水質問題について考えてもらうきっかけを作っています。

また、廃食用油を下水に流すときれいにするためにもものすごく水が必要になるため、流さなくするために役場で回収を行っています。それに加えて、川西町では下水道は約95パーセントの家庭に普及しており、川に流れる水を汚さないようにしています。

次に、汚れている川をきれいにする取り組みとしては、一斉清掃活動、不法投棄パトロール・ポイ捨て禁止看板の設置、水質調査を行っています。

3月には町職員と住民のみなさんがいっしょに大和川流域を一斉清掃しています。

みなさまも保護者の方と一緒に参加していただけたらと思います。あわせて、不法投棄パトロール・ポイ捨て禁止看板の設置を行い、ごみの少ない川にして、不法投棄をさせない環境づくりに努めています。

また、毎年大日本印刷北側の唐院川の水質調査を行い、水質の変化を監視しています。唐院川の水質は、魚が棲むことが出来る基準よりもきれいではありますが、最もきれいな水準であるとはいえません。

もっときれいな川にしていくためには、川西町だけが取り組んで解決できることではなく、川西町に流れる川よりも上流の他の市町村の水がもっときれいになることや、家庭排水を汚さないようにする皆さんひとりひとりの取り組みが大切です。

この質問をきっかけに、皆さんの家庭で出来る生活排水をきれいにするちょっとした工夫、例えば食事をした後の食器に残っている汚れを水に流すのではなく、古新聞等で拭き取ってから水洗いをする等、心がけてみてください。

議長（奥田莉生さん）ありがとうございました。

4人目の質問者、工藤さんお願いいたします。

4人目の質問者（工藤佐織さん）

わたしたちは、総合的な学習の時間で結崎ネブカについて学習してきました。収穫体験をしたり栽培されている農家の人たちの話を聞いたりして、現在の農家の人たちの苦労もよくわかりました。

せっかく復活した結崎ネブカですが、後をつぐ方も少ないという問題も知りました。町として何か対策は考えていますか。教えてください。

議長（奥田莉生さん）ありがとうございました。

それでは、産業建設部産業建設課長さんよろしくお願いいたします。

産業建設部産業建設課長（山口尚亮君）

それでは、工藤議員の質問にお答えいたします。川西町の特産品である「結崎ネブカ」は、現在、JAならけん川西支店にある「結崎ネブカ生産部会」に加入され

ている生産者21名の手によって、川西町の各地で生産されております。昨年の平成25年度の出荷量については、生産部会が発足してから初めて20tを超える結果となりました。これは、結崎ネブカを生産して頂いている生産者の方々が、がんばって作られたおかげです。

また、ここ数年はテレビや新聞などのマスメディアへの露出も増えており、注目度も徐々にではありますが上がってきております。

しかしながら、この結崎ネブカは、市場に多く出回っている一般的な青ネギとは違い、古来から品種改良がなされていないため、農作物の病気に非常に弱く、経験豊富な農業者の方でも作るのがなかなか難しい品種とされております。また、工藤さんのご指摘のとおり、農業者の高齢化や後継者不足が全国的に問題となっており、川西町もまたそれと同じ状況にあります。

現在行なっている川西町の支援制度としては、結崎ネブカ生産部会の活動に対する支援として「川西町地域ブランド支援事業」を行なっております。この支援事業により、生産部会が行うPR活動やパンフレット作成、生産に関する勉強会などを支援しております。

今後は、高齢化・後継者不足に対する直接的な支援などが必要であると考えており、そのためには、結崎ネブカの生産に携わる「きっかけ作り」を検討する必要があります。現在働いている方が、定年退職され時間的に余裕ができた方、また農業に興味を持たれる青年の方等に対し、農地や必要な資金提供・貸付を行う等、結崎ネブカの生産に加わっていただける方を町広報などで募集し、結崎ネブカの伝統が途絶えないようにしたいと考えます。

小学生のみなさんは、町のいろいろな伝統を受け継ぐ一人であります。伝統に興味を持ち、伝統を守っていく事の大切さを知り、子どもの目線から、守るにはどうしたらいいか、気がつくことがあれば、どのような意見でも教えていただければ嬉しく思います。

議長（奥田莉生さん）ありがとうございました。

最後に、小林君お願いいたします。

最後の質問者（小林駿介君）

子ども110番の家が川西町内にもあると思いますが、ぼくたちにとってみれば少し入りづらいと感じています。もし、何かあっても入れないのではないかと感じています。110番の家はどのようにしてしまっているのか、また、もっと気軽に入れるような工夫や取組があれば教えてください。

議長（奥田莉生さん）ありがとうございました。

それでは、教育委員会事務局社会教育課長さんよろしくお願いいたします。

教育委員会事務局社会教育課長（広瀬行延君）

小林君の質問にお答えいたします。「子ども110番の家」は小学校のPTAの方々が、おのおののご自宅や商店にお願いにあがって、許可を得られた所に旗を置いていただいています。

お願いの際には、子どもたちが危険を感じたら避難する場所として子どもたちを受け入れて欲しいということをお願いしています。なので、子どもが入れてくださ

いとお願ひすれば入れてもらえるようになっています。

入りやすいようにして欲しいということですが、「子ども110番の家」を引き受けてくださっている家は先に申し上げましたとおり、その家の方がご自分の意志で引き受けていますので、緊急時に入るのは何ら入りにくいことはありません。今後、皆さんの感想を聞いて具体的に考えていきたいと思ひます。

身の危険を感じたら近くの110番の家に行き、遠慮せず呼び鈴を押して助けを求めてください。

議長（奥田莉生さん）ありがとうございました。

以上で2組議会の質問をすべて終了いたします。本当にありがとうございました。6年生の子ども議会を閉会するにあたり、谷口校長先生よりご挨拶をお願いいたします。

川西小学校長（谷口廣行君）

今日子ども議会を振り返りながら、そして、今日子ども議会に参加していただいた皆さんに感謝していきたいと思ひます。

6年生の皆さんは、9月19日を知っていますか、9月19日は川西小学校の創立記念日です。平成20年9月19日に川西町議会、つまりこの場所で決定いたしました。それは、川西小学校の開設です。結崎小学校と唐院小学校が一つとなって開校していくということが、川西町議会のこの場所で議員さんたちの話し合いによって決まりました。引き続いて、新しい校舎、LEDを使った照明、奈良県の木を使った優しい環境、ぬくもりのある校舎など、この議会で決まってきました。

そして、その仕事を進めているのが、今日ここに参加していただいた各課の皆さんです。また、それ以外にもいろんな課があります。川西町が、暖かくて優しい街作りのために、それぞれの分野で仕事をされています。

今日子ども議会を振り返ると6年生の皆さんは、生活の中から街の街灯や公園、子どもセンターのことなど、自分たちの生活をより良くしたいという願ひを伝えてくれました。そして、大和川のことや結崎ネブカのことなど学習したことをもとに自分たちの考えを議会の中で、伝えることができました。そして、学校としても感謝したいことは、町長さんが始めにおっしゃっていただきました、夢と希望を持った大人になってほしいということが、今日の学習につながってほしいと思ひます。

みんなが大人になって、この川西町で結崎ネブカを作ったり、あるいは町の仕事をやる人が出たり、議員となっていく人が出てくるかもしれません。このように夢が広がってきますね。

今日は、役場の方がきめ細かにみんなの質問に答えていただきました。しかも、具体的に君たちにも考える道筋も教えていただきました。たとえば、学校に池とか作ってほしいという願ひを持ちました。その中で君たちができること、ワークスペースに大和川ランドを作るのも案かもしれませんね。そんなこともまた学年で相談してもらいたいと思ひます。

最後に、皆さんと一緒に今日参加していただいたことを感謝して終わりたいと思ひます。

本日は、どうもありがとうございました。

議 長（奥田莉生さん）

続いて、川西町議会松本議長さんから本日の感想をお願いいたします。

川西町議会議長（松本史郎君）

ただいまご紹介いただきました、川西町議会議長の松本でございます。本日6年生の皆さんの行った子ども議会を、見学させていただきまして簡単に感想を述べたいと思います。

このように皆さんがこの川西町を愛し、安心して住める、また安心して暮らせるまちづくりを真剣に考えていてくれることに、本当に感激もひとしおでございます。そして今日は、私たち議員の代わりに私たちの日頃の考えていることを質問してくださっていると感じました。また、子どもは国の宝です。皆さんは、この日本を背負っていく大事な宝です。どうぞみなさんこれからも、川西町の発展のためにすくすく育て勉強に励んでいただきたいと思います。

後8年位するとみなさんも成人になられます。成人になると成人式があり、選挙権があります。どうか、みなさん二十歳になると選挙には是非行ってください。

いろいろと質問されました。私たち議員も今日の答弁を聞いて、勉強になったと思います。特に私が感じましたことは、最後の小林君の子ども110番の家についての質問であります。町内に見守り隊という人がおられまして、登下校時は見守っていただきますが、放課後や土曜、日曜日などは、やはり1人で行動されることがあるかと思えます。事件や事故等があわれそうになった、その様なときに子ども110番の家へもっと気軽に入れたらと思いました。

以上で簡単ですが、わたしの感想といたします。

議 長（奥田莉生さん） ありがとうございます。

以上をもちまして、本日の日程はすべて終了いたしました。

皆さま、ご協力ありがとうございました。これをもちまして「子ども議会」を閉会いたします。

この後、記念写真を撮りますので 2組の皆さんは、前の方へ降りてください。

（町長さんを中心に2組の集合写真）

（午後2時35分 閉会）